

中期経営計画「LIVE計画」(2018~2020年)に

基本的な考え方

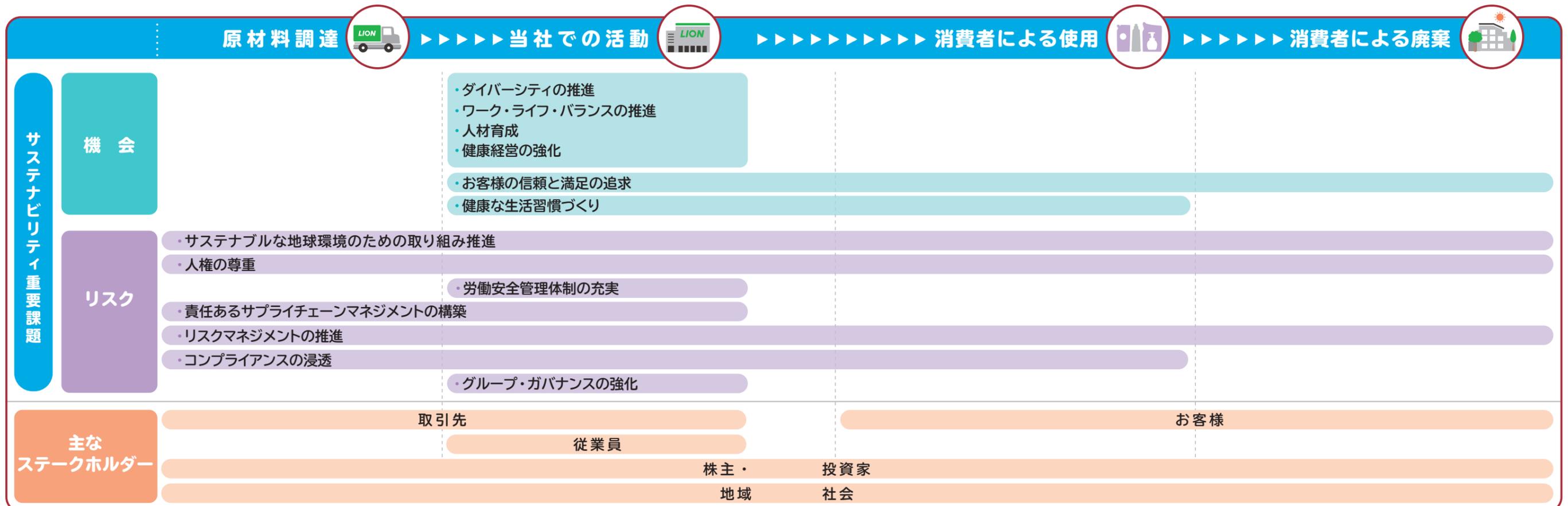
当社は、新経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」の実現に向けて、中期経営計画「LIVE計画」を推進し、持続可能な社会の発展・事業の成長を目指したサステナブル経営を進めます。

この実現において、ライオングループが2020年までに取り組むべきサステナビリティ重要課題を特定しました。

リスク低減に向けた経営基盤としての重要な取り組み、およびオールヘルスケア・清潔衛生習慣などを通じた一人ひとりの「心と身体へのヘルスケア」の実現に挑戦していきます。



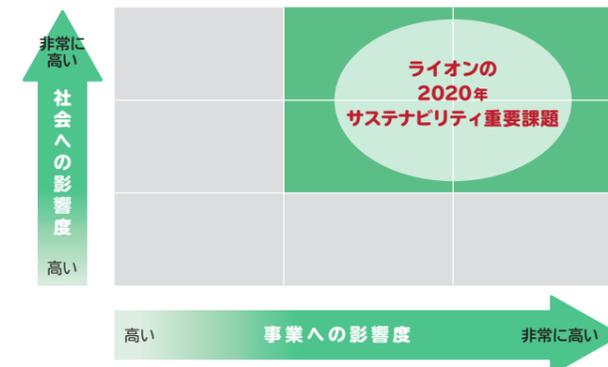
サプライチェーンにおけるサステナビリティ重要課題のリスクと機会



におけるサステナビリティ重要課題の特定

2020年サステナビリティ重要課題を右記のステップを通じて特定し、サプライチェーン全体およびステークホルダーを網羅的に勘案し、リスクと機会に層別しました。各課題の実行において取り組みの方向性を定め、目標およびKPIを設定しました。

サステナビリティ重要課題の考え方



サステナビリティ重要課題の特定ステップ

- Step 1 社会的 Issue の抽出**
ISO26000・SDGs・GRIスタンダード・国連グローバルコンパクト10原則をもとに社会的Issueを39項目抽出しました。
- Step 2 社会・事業への影響度を確認**
Step1のIssueを、それぞれ社会・事業への影響度の視点で、重要度評価を行い、関連部所、サステナビリティ担当役員、取締役でレビューを行いました。
- Step 3 重要課題の妥当性**
第三者機関の視点をふまえながら各項目の妥当性を検討し、見直しをはかりました。
- Step 4 執行役員会・取締役会にて承認**
特定した2020年サステナビリティ重要課題は、執行役員会・取締役会にて承認されました。

ライオンのサステナビリティ
2017年
組織統治
人権
労働慣行
環境
公正な事業慣行
消費者課題
コミュニティへの参画